

# 沖縄県宮古島市狩俣地区

## 自治会からスタートした 新しい働き方のご紹介

令和5年8月

労働者協同組合 かりまた共働組合

# 沖縄県宮古島市狩俣地区の紹介

- 宮古島市の北端に位置する三方を豊かな海に囲まれた212世帯・住民460人の少子高齢化の過疎集落。



「自治会創立120周年」2020年4月、自治会の執行部が40代に若返り、持続可能な地域づくりを目指し狩俣版SDGs新規事業計画書を作成、『つなぐ心』を合言葉に『幼・老・青・般』の優先順位で活動を展開中。

# 『狩俣版SDGs』の5つのテーマ



狩俣まるごと学びの場に



低炭素社会を目指す



小さな幸せをふやそう



豊かな海を次世代へつなぐ



餅屋システムで経済循環

かりまた  
「狩俣版 SDGs」 → 目標設定 2025年3月

## 私たちがこれからやりたいこと

空き家のリフォーム  
病院の誘致で地域活性化

みんなで遊べる公園をつくり  
イベントをたくさんしたい

ハイビスカスで花見  
打ち上げ花火大会  
餅つき大会がしたい

保育園・学童をつくる  
歴史資料館がほしい  
若い人を増やしたい  
住む場所を作りたい

課題解決型エコハウスで  
新しく住む場所を作りたい  
EV車に乗りたい  
農業を頑張りたい



**Q1・なぜ自治会から  
協同労働なのか？**

自治会の活動において  
公益性・平等性に疑問  
が生じ、継続性に不安

自治会に代わる新しい  
組織の必要性➡NPO?

# 幼稚園・高齢者へのお弁当配食サービス

①お弁当代1個300円×5=2,500円×20日→50,000円

②厨房使用 1,000×20=20,000円 ③材料費1,000×20=20,000円 ④人件費1名1日2時間×20日=40,000円

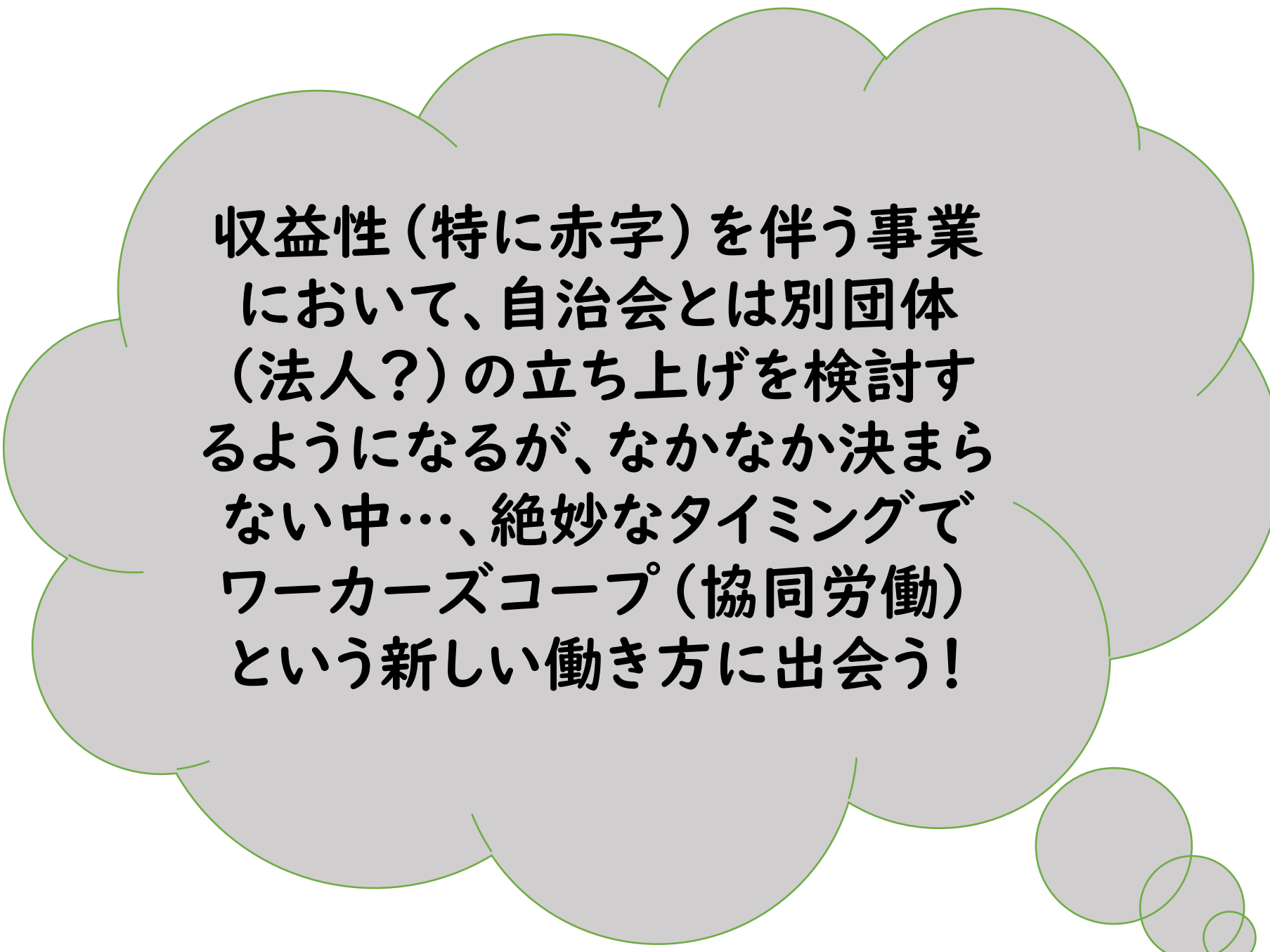
**3万/月×12ヵ月=-36万(年間赤字)**

# 高校生・高齢者への通学・通院サポート(EV)

①会費5,000円×5=2,5000円×10ヵ月→250,000円+50,000円(通院)=30万円

②充電 12万円 ③リース費59,000×12≒70万円 ④保険料・車検代・諸経費 48万円 ≒130万円

**≒100万(年間赤字)**



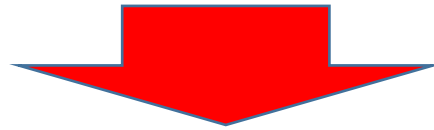
収益性（特に赤字）を伴う事業  
において、自治会とは別団体  
（法人？）の立ち上げを検討す  
るようになるが、なかなか決まら  
ない中…、絶妙なタイミングで  
ワーカーズコープ（協同労働）  
という新しい働き方に出会う！



# 労働者協同組合：協同労働との出会い

街づくりを仕事にする新しい働き方。

働く人たちが出資して組合員となり、組合員一人ひとりの意見を反映させながら運営し、ともに働く



狩俣に



ピタリ！

## 2021年

- 11月3日 第1回学習会
- 11月29日 事業計画・予算づくりの検討

## 2022年

- 6月18日 ワーカーズコープ連合会総会参加
- 11月7日 かりまた共働組合創立総会
- 12月9日 法人登記(那覇地方法務局)

## 2023年

- 2月 労働者協同組合法周知フォーラム参加
- 6月 第1期 定期総会
- 6月 ワーカーズコープ連合会へ正式加盟

# かりまた共働組合の紹介＊VTR

かりまた共働組合の業務分担 ➡ チーム制を導入

2023.7.7 時点 組合員数 8名 監事1名

むすびや（2名）・いんぱり（3名）・ばぎだま（3名）

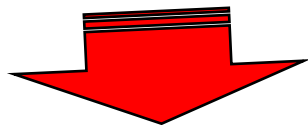
- ▶ 「むすびや」チーム ＊おにぎり・惣菜・地域食堂
- ▶ 狩俣幼稚園へのお弁当配食 高齢者へのお弁当配達など  
自治会行事（海神祭・敬老会）などのオードブル
- ▶ 「いんぱり」チーム ＊海と畑を中心とした事業 ＊野草
- ▶ モズク・魚の加工販売（地元特産品の6次産業化）
- ▶ いんぱり＝地元の言葉で「いん＝海」、「ぱり＝畑」
- ▶ 「ばぎだま」チーム ＊EV関連事業・餅屋システム運営管理
- ▶ キャンプなどのイベント企画・運営 ・事務的管理業務
- ▶ ばぎだま＝地元の言葉で「分け合い」、「支え合い」

ここで  
地元のケーブルテレビ局で  
放送されたニュース映像を  
ご覧ください（6分29秒）

なお、全国6例目の紹介は2022年11月7日時点  
であり、法人登記時点で**11例目**になります。

# 「餅屋システム」のご紹介

「餅は餅屋」その道のプロがいるのなら、任せてしまった方がいいというたとえ。昔は餅は自分の所で作るものとされていた



協同労働で『地域の困りごと』を仕事にする  
『地域の人材・素材を最大限活用』

**餅屋システムで地域内経済の循環を推進！**



# 住み続けられる地区へ 協同労働

雇われるのではなく、地域や社会に必要な仕事を自ら作り、自ら働く。「協同労働」と呼ばれる働き方に法人格を与える労働者協同組合法が10月に施行されました。SDGs（持続可能な開発目標）が目指す課題解決や働き方に通じる動きとして注目されています。

（編集委員・沢路毅彦）

「魚の販売をこれから始める。捨られたり無料で配られたりしている。少しでも義隆さんたちが買取り、お金がしょうと、狩猟自治会の役員が協力して直販の場を。自治会が販路を始めた、今度業務地区の集落センターに続々と人が集まってきた。売られていたのはシモン。沖系ではなじみのアイワシ系の魚だ。酢漬にしたたり唐揚げにしたりして食べる。500円、飛ぶように売れていく。ミニコンはスーパーで売られているが、大量にどれか買いたい。自治会は今年で20周年を迎えるが、少子高齢化が止まらない。189年が1500人近くいた地区の住民は現在約460人。若者が住み続けられる地域にしたい。自治会は今年で20周年を迎えるが、少子高齢化が止まらない。189年が1500人近くいた地区の住民は現在約460人。若者が住み続けられる地域にしたい。

## 魚の直売・弁当宅配：始めは自治会で

スラ社製の普通皿でまかなない。温室効カスの排出を減らす。表裏ゼロにする。カーボンフットプリントを減らす。豊かな海を守る、質の高い教育、低炭素社会。」「狩猟版SDGs」を目標に活動する。一方で、自治会



狩猟版SDGsを推進する自治会役員

### 労働者協同組合法が今月施行

協同労働は、失業者が成り立ち、業にスキルを持つワーカー、コワーキング、生活クラブ生協が母体となったワーカーズ・コレクティブや、トリックシャパン」の活動であった。協同労働のものは、組織電算機を作り、手続を整えていく。協同労働のものは、組織電算機を作り、手続を整えていく。協同労働のものは、組織電算機を作り、手続を整えていく。

「地産地消」の仕事組合で協同労働の特徴は、地域で必要な仕事を自分たちで作る。雇われるのではなく、一人ひとりが主体的に働くこと。今年4月に施行された労働者協同組合法でも、働く人が自ら出資し、意見を反映し、事業を共に担うことが明確にされている。

#### 労働者協同組合と他の法人の違い

	労働者協同組合	株式会社	NPO法人
目的・事業	持続可能な地域社会を実現する事業(労働者派遣事業以外)	定款に掲げる事業活動による利益の追求	特定非営利活動(20分野)
議決権	1人1票	出資比率による	原則1人1票
主な資金調達法	組合員による出資	株主による出資	会費、寄付
配当	従事した程度に応じて	出資分に応じて	できない

組合員の5分の4以上が勤める必要がある。このため働く人は協同組合と労働契約を結び、協同組合に労働者協同組合のメンバーとして働くことになる。協同組合は協同労働のメンバーとして働くことになる。

# 豊漁で(10t)廃棄予定だった宮古島産みじゅん 1袋1,000円で販売 (5kg)



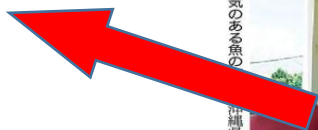
## さらに、下処理してパック販売(600円)



## 残りは、冷凍保存し食材として利活用！



住民から人気のある魚の産地宮古島市



**宮古島産みじゅん 600円<sub>200g</sub>**  
真謝漁港直送11/15深夜獲れたて➡ 11/16配達します



**かりまた共働組合『いんぱり』**

## むすびや：集落センター調理室を活用したお弁当作り



◎ 生活困窮者・ひとり暮らしの高齢者へのお弁当配食

◎ かりまた幼稚園へお弁当配食





## むすびや：集落センター調理室を活用した惣菜づくり



◎年越しそば  
高齢者などへ出前  
好評でした！

◎オードブル →  
地域行事や忘・新  
年会お正月用など



# いんぱり：養殖モズクを6次産業化

新鮮な養殖モズクを生産調整の為「廃棄処分」☹️

➡️ かりまた共働組合が地元宮古島で直売会



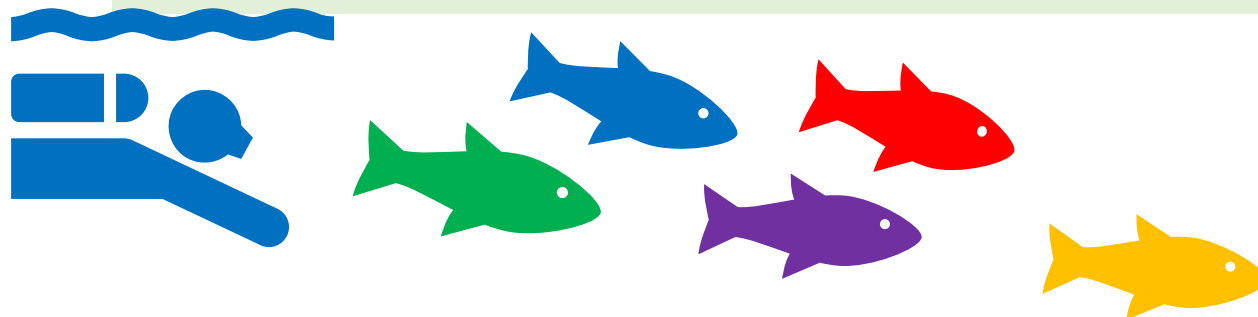
320Kg即日完売！

生産者が直売することで、現金収入と地産地消の販路拡大にもつながり、  
**ウィンウィン！**



かりまた共働組合「いんぱり」の原点

## いんぱり：追い込み漁を6次産業化

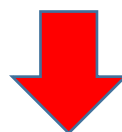


「追い込み漁」新鮮でおいしい魚が売れない…

➡ これまで捨てていた魚を共働組合で買い取り

『魚は食べたいけど家で魚を捌くのが面倒だなあ…』

➡ 共働組合で捌き、から揚げなどにして販売



「生産者」収入増につながり、

「消費者」にも喜ばれる



**ばぎだまチーム  
道路清掃  
高所作業車を使用  
した除草作業**

**ばぎだまチーム  
大雨で滞留した泥の  
除去作業  
ミニユンボ使用**





## ばぎだまチーム

**電気自動車で高齢者通院支援・高校生の通学支援  
(太陽光クリーンエネルギーを充電し、相乗りする  
ことで低炭素社会カーボンニュートラルを実践中)**

# 事業計画

令和4年度 「むすびや」「いんぱり」「ばぎだま」事業

事業1：配食を中心とした弁当づくり【むすびや】

事業2：狩俣産もずくの販路拡大【いんぱり】

事業3：餅屋システム事業【ばぎだま】

- ・ 経営基盤の確立とルールづくり
- ・ 安定した収入源確保に向けた事業計画

中長期「かりまた共働組合」の安定した組織づくり事業

- ・ 空き家の整備・活用、移住促進（自治会と連携）
- ・ 畑・追い込み漁のビジネス拡大 ・ 人材育成
- ・ 地域課題解決 ・ 体験型企業研修・キャンプ誘致

# 中期的な事業の方向性

## ■ 地域をつなぐ6次産業化の推進

- ・ 追い込み漁とモズクを中心に観光とリンクした海事業。農業分野においても組織のメリットを活用し所得の拡大・安定化を図る。

## ■ 地域課題解決

- ・ 常に地域の将来や課題についてみんなで話をすることを通して、随時発生する地域の課題について対策を考え、取り組んでいく。

## ■ 空き家・空地の活用、移住促進

- ・ 餅屋システムを活用した住宅関連の事業を行う。
- ・ 「ともに暮らしたい」と思える人を積極的に増やし移住を促す。

狩俣集落センター

狩俣マッチャーズ(支)

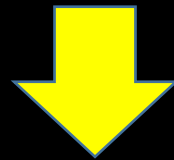
千 狩俣簡易局

みのる食堂

SHINZATOSUPOTSUCURABU

かりまた共働組合の理念

新しい働き方で  
小さな幸せをもっと。



「地域をつなぐ」



ご清聴ありがとうございました。

『たんでいがーたんでい』